

対象校No. 25

注4

学校コード F108110101423

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の設置

注1

事前伺い

注2

筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群（D）（5年一貫）

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書 （改正前大学設置基準適用）

国立大学法人筑波大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教育推進部教育機構支援課

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

理工情報生命学術院

＜システム情報工学研究群（D）（5年一貫）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	31
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	37
7. その他全般的事項	38

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人筑波大学

(2) 大学名

筑波大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒305-8577
茨城県つくば市天王台一丁目1番1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナガタ キョウスケ) 永田 恭介 (平成25年4月)		
学術院長	(ニシオカ マキヒト) 西岡 牧人 (令和2年4月)	(エヅラ ヒロシ) 江一面 浩 (令和4年4月) アキヤマ シゲキ 秋山 茂樹 (令和6年4月)	任満了のため変更、令和4年4月1日(4) 任満了のため変更、令和6年4月1日(6)
研究群長	(エンドウ ヤスノリ) 遠藤 靖典 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
 令和6年度に報告する内容 → (6)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
理工情報生命 学術院 システム情報 工学研究群 (D) (5年一貫) 博士 (人間情報学) 修士 (人間情報学)	工学関係	5 年	8 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	40 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の 学期区分につ いて	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	-	-	8	-	8	-	8	-	8	-	8	-	-	0.87 倍	- 倍	
志願者数	-	-	6	-	10	-	19	-	13	-	14	-	-			
受験者数	-	-	6	-	10	-	19	-	13	-	14	-	-			
合格者数	-	-	6	-	9	-	8	-	8	-	8	-	-			
B 入学者数	-	-	6	-	8	-	8	-	8	-	7	-	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	0.75	-	1.00	-	1.00	-	1.00	-	0.87	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設け方を中止している場合は、「春季入学以外の学期区分について」に「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
- ・ (5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			6 [2] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)	- [-] (-)	7 [] (-)		編入学生数 (R6.5.1現在) 3年：5人[2人] 4年：2人 5年：3人[2人]
2年次					6 [2] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)		
3年次							4 [3] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)	- [-] (-)	9 [3] (-)		
4年次									3 [2] (-)	- [-] (-)	8 [1] (-)		
5年次											3 [2] (-)		
計	- [-] (-)		6 [2] (-)		14 [3] (-)		20 [5] (-)		27 [5] (-)		35 [7] (-)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて記入**してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入**してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は「」書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	6 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	14 人	5 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	5 人	1 人	就職(4人)、[就職(1人)]
			令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	20 人	4 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	1 人	1 人	[就職(1人)]
			令和3年度	2 人	0 人	就職(2人)
			令和4年度	1 人	1 人	[他の教育機関への入学・転学(1人)]、編入学(1人)
令和5年度	27 人	5 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	4 人	0 人	就職(4人)
			令和5年度	1 人	1 人	[一身上(1人)]、編入学(1人)
令和6年度	35 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		14 人		14 人	4 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{14} = \boxed{35.71} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{20} = \boxed{20} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{27} = \boxed{18.51} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{35} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 博士後期課程/一貫制博士課程>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	倫理・生命・環境・研究	応用倫理	1-2, 3後	1								2
		環境倫理学概論	1-2, 3後	1								2
		研究倫理	1-2, 3前	1								2
		生命倫理学	1-2, 3前	1								10
		企業と技術者の倫理	1-2, 3前	1			1					1
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2, 3前	1								1
		英語発表	1-2, 3前	1								1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2, 3通	2								2
		Global Communication Skills Training	1-2, 3前	1								1
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2, 3前	1								1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2, 3後	1								1
		サイエンスコミュニケータ養成実践講座	1-2, 3休	2								1
	国際性養成科目群	人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2, 3後	1								3
		21世紀的中国—現代中国的多相	1-2, 3後	1								1
		国際研究プロジェクト	1-2, 3通	1								1
国際インターンシップ		1-2, 3通	1								1	
地球規模課題と国際社会:食料問題		1-2, 3後	1								1	
地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命		1-2, 3後	1								2	
地球規模課題と国際社会:社会脳		1-2, 3休	1								1	
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題		1-2, 3後	1								3	
地球規模課題と国際社会:社会問題		1-2, 3後	1								1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響		1-2, 3後	1								1	

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
大学院共通科目	倫理・生命・環境・研究	応用倫理	1-2, 3後	1								2
		環境倫理学概論	1-2, 3後	1								2
		研究倫理	1-2, 3前	1								2
		生命倫理学	1-2, 3前	1								10
		企業と技術者の倫理	1-2, 3前	1			1					0
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2, 3前	1								1
		Presentations for General Audiences	1-2, 3前	1								1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2, 3通	2								3
		Global Communication Skills Training	1-2, 3前	1								2
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2, 3前	1								1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2, 3後	1								1
		サイエンスコミュニケータ養成実践講座	1-2, 3休	2								1
	国際性養成科目群	人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2, 3後	1								2
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方	1-2, 3休	2								3
		21世紀的中国—現代中国的多相	1-2, 3後	1								10
国際研究プロジェクト		1-2, 3通	1								1	
国際インターンシップ		1-2, 3通	1								1	
地球規模課題と国際社会:食料問題		1-2, 3後	1								3	
地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命		1-2, 3後	1								2	
地球規模課題と国際社会:社会脳		1-2, 3休	1								4	
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題		1-2, 3後	1								2	
地球規模課題と国際社会:社会問題		1-2, 3後	1								1	

学位プログラム科目群	社会工学関連科目	社会工学インターンシップ	1-2通	2		16	24	1	8			8	
		社会工学ファシリテーター育成プログラムI	1-2通	2		16	24	1	8			8	
		社会工学ファシリテーター育成プログラムII	1-2通	2		16	24	1	8			8	
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIII	1-2・3通	1		16	24	1	8			8	
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIV	1-2・3通	1		16	24	1	8			8	
		社会工学博士特別演習I	1前	2		16	24	1	8			8	
		社会工学博士特別演習II	1後	2		16	24	1	8			8	
		社会工学博士特別演習III	2前	2		16	24	1	8			8	
		社会工学博士特別演習IV	2後	2		16	24	1	8			8	
		社会工学博士特別研究I	3前	2		16	24	1	8			8	
		社会工学博士特別研究II	3後	2		16	24	1	8			8	
		小計(11科目)		0	20	0	16	24	1	8	0	8	
		リスク・レジリエンス工学関連科目	専門科目	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)	1-2・3通	1							1
				リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)	1-2・3通	1							1
				リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)	1-2・3通	1							4
				リスク・レジリエンス工学博士特別演習	1-2・3通	2		7	6		5		15
				リスク・レジリエンス工学博士特別研究	1-2・3通	6		7	6		5		15
				リスク・レジリエンス・ケーススタディ	1-2・3通	1		7	6		5		4
				リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	1-2・3通	2		7	6		5		4
リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA	1-2・3通			1		7	6		5		4		
リスク・レジリエンス工学博士インターンシップB	1-2・3通			2		7	6		5		4		
リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	1-2・3通			2		7	6		5		4		
小計(10科目)				0	19	0	7	6	0	5	0	17	
専門科目(昼夜)	システムデザイン論			1-2・3通	1							1	
	ネットワーク特論			1-2・3通	1							1	
	プロジェクト・マネジメント論	1-2・3通	1							1			
	情報マネジメント	1-2・3通	1							1			
	情報検索特論	1-2・3通	1							1			
	知的ドキュメント管理論	1-2・3通	1							1			
	知能情報システム	1-2・3通	1							1			
	複雑システム論	1-2・3通	1							1			
小計(8科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	4			
情報理工関連科目	専門科目	異分野研究室インターンシップI	1-2・3通	1		1							
		異分野研究室インターンシップII	1-2・3通	1		1							
		研究型インターンシップI	1-2・3通	1		1							
		研究型インターンシップII	1-2・3通	1		1							
		情報理工後期特別研究	1通	6		20	25	3	17		6		
情報理工後期特別演習A	1通	2		20	25	3	17		6				
情報理工後期特別演習B	1-2・3通	2		20	25	3	17		6				

学位プログラム科目群	社会工学関連科目	社会工学インターンシップ	1-2通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムI	1-2通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムII	1-2通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIII	1-2・3通	1		20	18	1	9		6		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIV	1-2・3通	1		20	18	1	9		6		
		社会工学博士特別演習I	1通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学博士特別演習II	1通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学博士特別演習III	2通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学博士特別演習IV	2通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学博士特別研究I	3通	2		20	18	1	9		6		
		社会工学博士特別研究II	3通	2		20	18	1	9		6		
		小計(11科目)		0	20	0	20	18	1	9	0	6	
		リスク・レジリエンス工学関連科目	専門科目	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)	1-2・3通	1			1				1
				リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)	1-2・3通	1			1				1
				リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)	1-2・3通	1							8
				リスク・レジリエンス工学博士特別演習	1-2・3通	2		8	5		7		16
				リスク・レジリエンス工学博士特別研究	1-2・3通	6		8	5		7		16
				リスク・レジリエンス・ケーススタディ	1-2・3通	1		8	5		7		13
				リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	1-2・3通	2		8	5		7		3
リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA	1-2・3通			1		8	5		7		2		
リスク・レジリエンス工学博士インターンシップB	1-2・3通			2		8	5		7		2		
リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	1-2・3通			2		8	5		7		3		
リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)	1-2・3後			1			1				3		
小計(11科目)				0	20	0	8	5	0	7	0	25	
専門科目(昼夜)	システムデザイン論			1-2・3前	1							1	
	ネットワーク特論(未開講)	1-2・3後	1							0			
	プロジェクト・マネジメント論	1-2・3前	1							1			
	情報マネジメント(未開講)	1-2・3後	1							0			
	情報検索特論	1-2・3前	1							1			
	知的ドキュメント管理論	1-2・3前	1							1			
	知能情報システム	1-2・3後	1							1			
	複雑システム論	1-2・3後	1							1			
小計(8科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	3			
情報理工関連科目	専門科目	異分野研究室インターンシップI	1-2・3通	1			3		1				
		異分野研究室インターンシップII	1-2・3通	1			3		1				
		研究型インターンシップI	1-2・3通	1			3		1				
		研究型インターンシップII	1-2・3通	1			3		1				
		情報理工後期特別研究	1通	6		27	28	2	16		8		
情報理工後期特別演習A	1通	2		27	28	2	16		8				
情報理工後期特別演習B	1-2・3通	2		27	28	2	16		8				

ライフィノベーション(生物情報)関連科目	人を対象とした研究:基盤編	1通	1								1	
	博士後期ライフィノベーションセミナー	1前	1								9	
	博士後期インターシップI	1・2・3通	1								1	
	博士後期インターシップII	3通	1								1	
	小計(4科目)			0	4	0	0	0	0	0	0	11
	ライフィノベーション博士後期演習I秋	1後	1		1							3
	ライフィノベーション博士後期演習I春	1前	1		1							3
	ライフィノベーション博士後期研究I秋	1後	2		1							3
	ライフィノベーション博士後期研究I春	1前	2		1							3
	ライフィノベーション博士後期演習II秋	2後	1		1							3
	ライフィノベーション博士後期演習II春	2前	1		1							3
	ライフィノベーション博士後期研究II秋	2後	2		1							3
	ライフィノベーション博士後期研究II春	2前	2		1							3
ライフィノベーション博士後期演習III秋	3後	1		1							3	
ライフィノベーション博士後期演習III春	3前	1		1							3	
ライフィノベーション博士後期研究III秋	3後	2		1							3	
ライフィノベーション博士後期研究III春	3前	2		1							3	
小計(12科目)			0	18	0	1	0	0	0	0	3	
合計(137科目)			0	204	0	64	79	5	49	0	160	

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)に於ては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会学学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会学学関連科目-専門科目のうち、社会学学博士特別演習I、II、III、IV、社会学学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-社会学学関連科目-専門科目(社会学学博士特別演習I、II、III、IV、社会学学博士特別研究I、IIを除く。)
 - (2) 博士前期課程の科目
 - (3) 他研究群開設科目
 - (4) 学術院共通専門基盤科目
 - (5) 大学院共通科目
- ただし、(2)～(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

ライフィノベーション(生物情報)関連科目	人を対象とした研究:基盤編	1通	1									3
	博士後期ライフィノベーションセミナー	1前	1									9
	博士後期インターシップI	1・2・3通	1									2
	博士後期インターシップII	3通	1									2
	小計(4科目)			0	4	0	0	0	0	0	0	13
	ライフィノベーション博士後期演習I秋	1後	1				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期演習I春	1前	1				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期研究I秋	1後	2				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期研究I春	1前	2				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期演習II秋	2後	1				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期演習II春	2前	1				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期研究II秋	2後	2				2	2		1		30
	ライフィノベーション博士後期研究II春	2前	2				2	2		1		30
ライフィノベーション博士後期演習III秋	3後	1				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士後期演習III春	3前	1				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士後期研究III秋	3後	2				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士後期研究III春	3前	2				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究I	1後	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究I	1前	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究II	1後	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究II	1前	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究III	2後	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究III	2前	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究IV	2後	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究IV	2前	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究V	3後	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究V	3前	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究VI	3後	3				2	2		1		30	
ライフィノベーション博士研究VI	3前	3				2	2		1		30	
小計(24科目)			0	54	0	2	2	0	2	0	30	
合計(173科目)			0	274	0	81	76	3	47	0	248	

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)に於ては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会学学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会学学関連科目-専門科目のうち、社会学学博士特別演習I、II、III、IV、社会学学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-社会学学関連科目-専門科目(社会学学博士特別演習I、II、III、IV、社会学学博士特別研究I、IIを除く。)
 - (2) 博士前期課程の科目
 - (3) 他研究群開設科目
 - (4) 学術院共通専門基盤科目
 - (5) 大学院共通科目
- ただし、(2)～(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

<p>■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の科目 (2) 他研究群開設科目 (3) 学術院共通専門基礎科目 (4) 大学院共通科目
<p>■情報理工学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の科目 (2) 他研究群開設科目 (3) 学術院共通専門基礎科目 (4) 大学院共通科目
<p>■知能機能システム学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。</p>
<p>■構造エネルギー工学学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得すること。 さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程) (2) 博士前期課程の科目 (3) 他研究群開設科目 (4) 学術院共通専門基礎科目 (5) 大学院共通科目 <p>ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p>
<p>■エンパワーメント情報学プログラム(5D)</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目
<p>【修士取得条件】</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目
<p>■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)</p> <p>次の履修方法により24単位以上を修得すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、博士後期インターンシップI、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単位 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4) ライフイノベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大学院共通科目

<p>■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の科目 (2) 他研究群開設科目 (3) 学術院共通専門基礎科目 (4) 大学院共通科目
<p>■情報理工学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。 (※)10月入学の学生は、情報理工後期特別研究s及びf、情報理工後期特別演習As及びAfの単位を修得すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 博士前期課程の科目 (2) 他研究群開設科目 (3) 学術院共通専門基礎科目 (4) 大学院共通科目
<p>■知能機能システム学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。</p>
<p>■構造エネルギー工学学位プログラム(D)</p> <p>学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得すること。 (※)10月入学の学生は、構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別研究A、Bの単位を修得すること。 さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程) (2) 博士前期課程の科目 (3) 他研究群開設科目 (4) 学術院共通専門基礎科目 (5) 大学院共通科目 <p>ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p>
<p>■エンパワーメント情報学プログラム(5D)</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目
<p>【修士取得条件】</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査に合格すること。 (注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目
<p>■ライフイノベーション(生物情報)学位プログラム(D)</p> <p>次の履修方法により24単位以上を修得すること。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、博士後期インターンシップI、IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフイノベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単位 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4) ライフイノベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大学院共通科目

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	倫理生命・環境・研究	応用倫理	1-2, 3後	1								2	
	環境倫理学概論	1-2, 3後	1									2	
	研究倫理	1-2, 3前	1									2	
	生命倫理学	1-2, 3前	1									10	
	企業と技術者の倫理	1-2, 3前	1			1						0	
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2, 3前	1									1
		Presentations for General Audiences	1-2, 3前	1									1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2, 3通	2									3
		Global Communication Skills Training	1-2, 3前	1									2
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2, 3前	1									1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2, 3後	1									1
		サイエンスコミュニケーション養成実践講座	1-2, 3休	2									1
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2, 3後	1									2
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達力	1-2, 3休	2									3
		国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国的多相	1-2, 3後	1								
	国際研究プロジェクト		1-2, 3通	1									1
	国際インターンシップ		1-2, 3通	1									1
	地球規模課題と国際社会:食料問題		1-2, 3後	1									4
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命		1-2, 3休	1									3
	地球規模課題と国際社会:社会脳		1-2, 3休	1									4
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2, 3後		1									2	
地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2, 3休		1									1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2, 3後		1									1	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2, 3前		1									8	
キャリアマネジメント科目群	外交実務の実際と国際関係論	1-2, 3前	1									1	
	Discussing Japan's political economy	1-2, 3後	1									1	
	JAPICアドバンストディスカッションコースI—多極化する世界とこれからの日本	1-2, 3後	1		1							1	
	JAPICアドバンストディスカッションコースII—日本が目指すSociety5.0と次世代モビリティ	1-2, 3前	1		1							1	
	ダイバーシティとSOGL/LGBT+	1-2, 3休	1									2	
	ワークライフミックス—モータースに学ぶハラダイムシフト	1-2, 3後	1									2	
	魅力ある理科教員になるための生物・地学実験	1-2, 3休	1									9	
	アクセシビリティリーダー特論	1-2, 3前	1									8	
	脳の多様性とセルフマネジメント	1-2, 3休	1									4	
	筑波クリエイティブ・キャンパスアドバンスト	1-2, 3後	1									4	
博士のキャリアパス	1-2, 3前	1									2		

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
大学院共通科目	倫理生命・環境・研究	応用倫理	1-2, 3後	1								2	
	環境倫理学概論	1-2, 3後	1									2	
	研究倫理	1-2, 3前	1									2	
	生命倫理学	1-2, 3前	1									10	
	企業と技術者の倫理	1-2, 3前	1			1						0	
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2, 3前	1									1
		Presentations for General Audiences	1-2, 3前	1									1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2, 3通	2									3
		Global Communication Skills Training	1-2, 3前	1									3
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2, 3前	1									1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2, 3後	1									1
		サイエンスコミュニケーション養成実践講座	1-2, 3休	2									1
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2, 3後	1									2
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達力	1-2, 3後	2									3
		国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国的多相	1-2, 3後	1								
	国際研究プロジェクト		1-2, 3通	1									1
	国際インターンシップ		1-2, 3通	1									1
	地球規模課題と国際社会:食料問題		1-2, 3後	1									4
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命		1-2, 3後	1									3
	地球規模課題と国際社会:社会脳		1-2, 3休	1									4
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2, 3後		1									2	
地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2, 3休		1									1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2, 3後		1									2	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2, 3前		1									8	
キャリアマネジメント科目群	外交実務の実際と国際関係論	1-2, 3前	1									1	
	Discussing Japan's political economy	1-2, 3後	1									1	
	JAPICアドバンストディスカッションコースI—多極化する世界とこれからの日本	1-2, 3後	1		1							1	
	JAPICアドバンストディスカッションコースII—次世代モビリティのマーケットデザインと計算科学	1-2, 3前	1		1							1	
	ダイバーシティとSOGL/LGBT+	1-2, 3休	1									2	
	ワークライフミックス—モータースに学ぶハラダイムシフト	1-2, 3前	1									2	
	魅力ある理科教員になるための生物・地学実験	1-2, 3休	1									9	
	アクセシビリティリーダー特論	1-2, 3前	1									8	
	脳の多様性とセルフマネジメント	1-2, 3休	1									4	
	筑波クリエイティブ・キャンパスアドバンスト	1-2, 3後	1									4	
博士のキャリアパス	1-2, 3前	1									2		

知的基盤形成科目群	生物多様性と地球環境	1-2-3前	1							4			
	内部共生と生物進化	1-2-3前	1							1			
	海洋生物の世界と海洋環境講座	1-2-3後	1							2			
	科学的発見と創造性	1-2-3前	1							2			
	自然災害にどう向き合うか	1-2-3前	1		1								
	「考える」動物としての人間-東西哲学からの考察	1-2-3休	1							6			
	21世紀と宗教	1-2-3前	1							4			
	UT-Top Academic's Lecture	1-2-3後	1							3			
	身心基盤形成科目群	塑造実習	1-2-3後	1							2		
		コミュニケーションアート&デザインA	1-2-3前	1							6		
		コミュニケーションアート&デザインB	1-2-3後	1							8		
		日本画実習	1-2-3前	1							1		
		ヨガコース	1-2-3前	1							3		
		絵画実習A	1-2-3前	1							1		
		現代アート入門	1-2-3前	1							1		
		書実習基礎	1-2-3前	1							2		
		大学院体育Ia	1-2-3通	1							4		
大学院体育Ib		1-2-3前	1							3			
大学院体育Ic		1-2-3後	1							3			
大学院体育IIa		1-2-3通	1							4			
大学院体育IIb		1-2-3前	1							3			
大学院体育IIc		1-2-3後	1							3			
大学院体育IIIa		1-2-3通	1							4			
大学院体育IIIb		1-2-3前	1							3			
大学院体育IIIc		1-2-3後	1							3			
大学院体育IVa		1-2-3通	1							4			
大学院体育IVb		1-2-3前	1							3			
大学院体育IVc		1-2-3後	1							3			
大学院体育Va	1-2-3通	1							4				
大学院体育Vb	1-2-3前	1							3				
大学院体育Vc	1-2-3後	1							3				
小計(66科目)			0	69	0	1	2	0	0	0	133		
学位プログラム科目群	社会工学位プログラム科目	社会工学インターシップ	1-2通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムI	1-2通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムII	1-2通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIII	1-2-3通	1		21	19	1	9		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIV	1-2-3通	1		21	19	1	9		8		
		社会工学博士特別演習I	1通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学博士特別演習II	1通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学博士特別演習III	2通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学博士特別演習IV	2通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学博士特別研究I	3通	2		21	19	1	9		8		
		社会工学博士特別研究II	3通	2		21	19	1	9		8		
		小計(11科目)			0	20	0	21	19	1	9	0	8

知的基盤形成科目群	生物多様性と地球環境	1-2-3前	1							4			
	内部共生と生物進化	1-2-3前	1							1			
	海洋生物の世界と海洋環境講座	1-2-3休	1							2			
	科学的発見と創造性	1-2-3後	1							3			
	自然災害にどう向き合うか	1-2-3前	1		1								
	「考える」動物としての人間-東西哲学からの考察	1-2-3休	1							8			
	21世紀と宗教	1-2-3前	1							4			
	UT-Top Academic's Lecture	1-2-3後	1							3			
	身心基盤形成科目群	塑造実習	1-2-3後	1							2		
		コミュニケーションアート&デザインA	1-2-3前	1							8		
		コミュニケーションアート&デザインB	1-2-3後	1							8		
		日本画実習	1-2-3前	1							2		
		ヨガコース	1-2-3前	1							3		
		絵画実習A	1-2-3前	1							1		
		現代アート入門	1-2-3前	1							1		
		書実習基礎	1-2-3前	1							2		
		大学院体育Ia	1-2-3通	1							4		
大学院体育Ib		1-2-3前	1							3			
大学院体育Ic		1-2-3後	1							3			
大学院体育IIa		1-2-3通	1							4			
大学院体育IIb		1-2-3前	1							3			
大学院体育IIc		1-2-3後	1							3			
大学院体育IIIa		1-2-3通	1							4			
大学院体育IIIb		1-2-3前	1							3			
大学院体育IIIc		1-2-3後	1							3			
大学院体育IVa		1-2-3通	1							4			
大学院体育IVb		1-2-3前	1							3			
大学院体育IVc		1-2-3後	1							3			
大学院体育Va	1-2-3通	1							4				
大学院体育Vb	1-2-3前	1							3				
大学院体育Vc	1-2-3後	1							3				
小計(64科目)			0	67	0	1	2	0	0	0	132		
学位プログラム科目群	社会工学位プログラム科目	社会工学インターシップ	1-2通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムI	1-2通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムII	1-2通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIII	1-2-3通	1		19	18	1	11		8		
		社会工学ファシリテーター育成プログラムIV	1-2-3通	1		19	18	1	11		8		
		社会工学博士特別演習I	1通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学博士特別演習II	1通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学博士特別演習III	2通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学博士特別演習IV	2通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学博士特別研究I	3通	2		19	18	1	11		8		
		社会工学博士特別研究II	3通	2		19	18	1	11		8		
		小計(11科目)			0	20	0	19	18	1	11	0	8

リスク・レジリエンス工学関連科目	専門科目	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)	1-2-3通	1			1				1	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)	1-2-3通	1			1				1	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)	1-2-3通	1						9		
		リスク・レジリエンス工学博士特別演習	1-2-3通	2			8	4		6	16	
		リスク・レジリエンス工学博士特別研究	1-2-3通	6			8	4		6	16	
		リスク・レジリエンス・ケーススタディ	1-2-3通	1			8	4		6	14	
		リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	1-2-3通	2			8	4		6	4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップA	1-2-3通	1			8	4		6	3	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップB	1-2-3通	2			8	4		6	3	
		リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	1-2-3通	2			8	4		6	4	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)	1-2-3後	1					1			3
		小計(11科目)		0	20	0	8	4	0	6	0	25
専門科目(昼夜)	システムデザイン論	1-2-3前	1							1		
	ネットワーク特論(未開講)	1-2-3後	1							0		
	プロジェクト・マネジメント論	1-2-3前	1							1		
	情報マネジメント(未開講)	1-2-3後	1							0		
	情報検索特論	1-2-3前	1							1		
	知的ドキュメント管理論	1-2-3前	1							1		
	知能情報システム	1-2-3後	1							1		
	複雑システム論	1-2-3後	1							1		
小計(8科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	3		
情報理工関連科目	専門科目	異分野研究室インターシップI	1-2-3通	1							1	
		異分野研究室インターシップII	1-2-3通	1							1	
		研究型インターシップI	1-2-3通	1							1	
		研究型インターシップII	1-2-3通	1							1	
		情報理工後期特別研究	1通	6			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別演習A	1通	2			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別演習B	1-2-3通	2			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別研究s	1前	3			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別研究f	1後	3			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別演習As	1前	1			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別演習Af	1後	1			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別演習Bs	1-2-3前	1			27	29	2	17	9	
		情報理工後期特別演習Bf	1-2-3後	1			27	29	2	17	9	
		AI応用研究インターシップ*	1-2-3通	1					4		1	
		情報理工分野横断後期特別演習	1-2-3前	2			27	29	2	17	9	
小計(15科目)		0	27	0	27	29	2	17	0	9		

リスク・レジリエンス工学関連科目	専門科目	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)	1-2-3通	1						1		
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)	1-2-3通	1							1	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)	1-2-3通	1							9	
		リスク・レジリエンス工学博士特別演習	1-2-3通	2			8	4		7	18	
		リスク・レジリエンス工学博士特別研究	1-2-3通	6			9	4		7	18	
		リスク・レジリエンス・ケーススタディ	1-2-3通	1			8	4		7	16	
		リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	1-2-3通	2			8	4		7	4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップA	1-2-3通	1			8	4		7	4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップB	1-2-3通	2			8	4		7	4	
		リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	1-2-3通	2			8	4		7	4	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)	1-2-3後	1					1			3
		小計(11科目)		0	20	0	9	4	0	7	0	27
専門科目(昼夜)	システムデザイン論	1-2-3前	1							1		
	ネットワーク特論	1-2-3後	1							1		
	プロジェクト・マネジメント論	1-2-3前	1							1		
	情報マネジメント	1-2-3後	1							1		
	情報検索特論	1-2-3前	1							1		
	知的ドキュメント管理論	1-2-3前	1							1		
	知能情報システム	1-2-3後	1							1		
	複雑システム論	1-2-3後	1							1		
小計(8科目)		0	8	0	0	0	0	0	0	4		
情報理工関連科目	専門科目	異分野研究室インターシップI	1-2-3通	1						1		
		異分野研究室インターシップII	1-2-3通	1							1	
		研究型インターシップI	1-2-3通	1							1	
		研究型インターシップII	1-2-3通	1							1	
		情報理工後期特別研究	1通	6			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別演習A	1通	2			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別演習B	1-2-3通	2			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別研究s	1前	3			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別研究f	1後	3			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別演習As	1前	1			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別演習Af	1後	1			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別演習Bs	1-2-3前	1			25	30	2	20	8	
		情報理工後期特別演習Bf	1-2-3後	1			25	30	2	20	8	
小計(13科目)		0	24	0	25	30	2	20	0	8		

知能機能システム関連科目	知能機能システム特別研究A	1-2・3通	4		20	14	0	11	15		
	知能機能システム特別研究B	1-2・3通	2		20	14	0	11	15		
	知能機能システム特別研究C	1-2・3通	2		20	14	0	11	15		
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習I	1-2・3通	2		20	14	0	11	15		
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習II	1-2・3通	2		20	14	0	11	15		
	知能機能システム国際会議論文発表演習	1-2・3通	2		20	14	0	11	15		
	知能機能システムコホortary演習III	1通	1		20	14	0	11	15		
	知能機能システムコホortary演習IV	2通	1		20	14	0	11	15		
	知能機能システム計画調書作成演習III	1通	1		5			4			
	知能機能システム計画調書作成演習IV	2通	1		5			4			
	小計(10科目)		0	18	0	20	14	0	11	0	15
	構造エネルギー工学関連科目	構造エネルギー工学後期特別演習	1通	2		11	12		6	11	
		構造エネルギー工学後期特別研究	1通	6		11	12		6	11	
		構造エネルギー工学後期特別演習A	1前	1		11	12		6	11	
構造エネルギー工学後期特別演習B		1後	1		11	12		6	11		
構造エネルギー工学後期特別研究A		1前	3		11	12		6	11		
構造エネルギー工学後期特別研究B		1後	3		11	12		6	11		
小計(6科目)			0	16	0	11	12	0	6	0	11
エンバワメント情報学関連科目		エンバワメント情報学原論	1-2・3前	1		17	14	0	11	0	
	エンバワメント情報学特別演習I	1通	2		17	14	0	11	0		
	エンバワメント情報学特別演習II	2通	2		17	14	0	11	0		
	エンバワメント情報学特別研究I	1通	4		17	14	0	11	0		
	エンバワメント情報学特別研究II	2通	4		17	14	0	11	0		
	エンバワメント情報学特別研究III	3通	4		17	14	0	11	0		
	エンバワメント情報学特別研究IV	4通	4		17	14	0	11	0		
	エンバワメント情報学特別研究V	5通	4		17	14	0	11	0		
	エンバワメントプロジェクト研究	1-2・3通	2					1			
	エンバワメント学術雑誌論文発表演習	1-2・3・4・5通	2		17	14	0	11	0		
	エンバワメント国際会議・学術雑誌論文発表演習	1-2・3・4・5通	2		17	14	0	11	0		
	アントレプレナーシップ演習	3前	1		1			0	1		
	エンジニアリングレジデンス実習	4通	1		1			0			
	エンバワメント研究発表演習	1-2通	1		17	14	0	11	0		
小計(14科目)		0	34	0	17	14	0	11	0	1	
ライフイノベーション(基礎科目)	人を対象とした研究:基盤編	1通	1						2		
	博士後期ライフイノベーションセミナー	1前	1						10		
	博士後期インターシップI	1-2・3通	1						2		
	博士後期インターシップII	3通	1						2		
	小計(4科目)		0	4	0	0	0	0	0	14	
ライフイノベーション(生物情報)関連科目	ライフイノベーション博士後期演習I秋	1後	1		2	2		1	26		
	ライフイノベーション博士後期演習I春	1前	1		2	2		1	26		
	ライフイノベーション博士後期研究I秋	1後	2		2	2		1	26		
	ライフイノベーション博士後期研究I春	1前	2		2	2		1	26		
	ライフイノベーション博士後期演習II秋	2後	1		2	2		1	26		

知能機能システム関連科目	知能機能システム特別研究A	1-2・3通	4		21	13	0	14	16		
	知能機能システム特別研究B	1-2・3通	2		21	13	0	14	16		
	知能機能システム特別研究C	1-2・3通	2		21	13	0	14	16		
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習I	1-2・3通	2		21	13	0	14	16		
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習II	1-2・3通	2		21	13	0	14	16		
	知能機能システム国際会議論文発表演習	1-2・3通	2		21	13	0	14	16		
	知能機能システムコホortary演習III	1通	1		21	13	0	14	16		
	知能機能システムコホortary演習IV	2通	1		21	13	0	14	16		
	知能機能システム計画調書作成演習III	1通	1					3	7		
	知能機能システム計画調書作成演習IV	2通	1					3	7		
	小計(10科目)		0	18	0	21	13	0	14	0	16
	構造エネルギー工学関連科目	構造エネルギー工学後期特別演習	1通	2		10	13		7	10	
		構造エネルギー工学後期特別研究	1通	6		10	13		7	10	
		構造エネルギー工学後期特別演習A	1前	1		10	13		7	10	
構造エネルギー工学後期特別演習B		1後	1		10	13		7	10		
構造エネルギー工学後期特別研究A		1前	3		10	13		7	10		
構造エネルギー工学後期特別研究B		1後	3		10	13		7	10		
小計(6科目)			0	16	0	10	13	0	7	0	10
エンバワメント情報学関連科目		エンバワメント情報学原論	1-2・3前	1		17	13	0	14	0	
	エンバワメント情報学特別演習I	1通	2		17	13	0	14	0		
	エンバワメント情報学特別演習II	2通	2		17	13	0	14	0		
	エンバワメント情報学特別研究I	1通	4		17	13	0	14	0		
	エンバワメント情報学特別研究II	2通	4		17	13	0	14	0		
	エンバワメント情報学特別研究III	3通	4		17	13	0	14	0		
	エンバワメント情報学特別研究IV	4通	4		17	13	0	14	0		
	エンバワメント情報学特別研究V	5通	4		17	13	0	14	0		
	エンバワメントプロジェクト研究	1-2・3通	2					1			
	エンバワメント学術雑誌論文発表演習	1-2・3・4・5通	2		17	13	0	14	0		
	エンバワメント国際会議・学術雑誌論文発表演習	1-2・3・4・5通	2		17	13	0	14	0		
	アントレプレナーシップ演習	3前	1		1			0	1		
	エンジニアリングレジデンス実習	4通	1		1			0			
	エンバワメント研究発表演習	1-2通	1		17	13	0	14	0		
小計(14科目)		0	34	0	17	13	0	14	0	1	
ライフイノベーション(基礎科目)	人を対象とした研究:基盤編	1通	1						2		
	博士後期ライフイノベーションセミナー	1前	1						10		
	博士後期インターシップI	1-2・3通	1						2		
	博士後期インターシップII	3通	1						2		
	小計(4科目)		0	4	0	0	0	0	0	14	
ライフイノベーション(生物情報)関連科目	ライフイノベーション博士後期演習I秋	1後	1		2	1		1	13		
	ライフイノベーション博士後期演習I春	1前	1		2	1		1	13		
	ライフイノベーション博士後期研究I秋	1後	2		2	1		1	13		
	ライフイノベーション博士後期研究I春	1前	2		2	1		1	13		
	ライフイノベーション博士後期演習II秋	2後	1		2	1		1	13		

ライフイノベーション博士後期演習II春	2前	1	2	2	1	26				
ライフイノベーション博士後期研究II秋	2後	2	2	2	1	26				
ライフイノベーション博士後期研究II春	2前	2	2	2	1	26				
ライフイノベーション博士後期演習III秋	3後	1	2	2	1	26				
ライフイノベーション博士後期演習III春	3前	1	2	2	1	26				
ライフイノベーション博士後期研究III秋	3後	2	2	2	1	26				
ライフイノベーション博士後期研究III春	3前	2	2	2	1	26				
小計(12科目)		0	18	0	2	2	0	1	0	26
合計(157科目)		0	234	0	84	77	3	47	0	240

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、IIを除く。)
 - (2) 博士前期課程の科目
 - (3) 他研究群開設科目
 - (4) 学術院共通専門基盤科目
 - (5) 大学院共通科目
- ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

(注) 下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

(注) 下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得すること。

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

- (1) システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程)
 - (2) 博士前期課程の科目
 - (3) 他研究群開設科目
 - (4) 学術院共通専門基盤科目
 - (5) 大学院共通科目
- ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

ライフイノベーション博士後期演習II春	2前	1	2	1	1	13				
ライフイノベーション博士後期研究II秋	2後	2	2	1	1	13				
ライフイノベーション博士後期研究II春	2前	2	2	1	1	13				
ライフイノベーション博士後期演習III秋	3後	1	2	1	1	13				
ライフイノベーション博士後期演習III春	3前	1	2	1	1	13				
ライフイノベーション博士後期研究III秋	3後	2	2	1	1	13				
ライフイノベーション博士後期研究III春	3前	2	2	1	1	13				
小計(12科目)		0	18	0	2	1	0	1	0	13
合計(153科目)		0	229	0	80	77	3	56	0	229

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、IIを除く。)
 - (2) 博士前期課程の科目
 - (3) 他研究群開設科目
 - (4) 学術院共通専門基盤科目
 - (5) 大学院共通科目
- ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

(注) 下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

(注) 下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 博士前期課程の科目
- (2) 他研究群開設科目
- (3) 学術院共通専門基盤科目
- (4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得すること。

(※)10月入学の学生は、構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別研究A、Bの単位を修得すること。

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

- (1) システム情報工学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程)
 - (2) 博士前期課程の科目
 - (3) 他研究群開設科目
 - (4) 学術院共通専門基盤科目
 - (5) 大学院共通科目
- ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

<p>■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。</p> <p>(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <p>(1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目</p> <p>【修士取得条件】</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査に合格すること。</p> <p>(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <p>(1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目</p> <p>■ ライフインベーション(生物情報)学位プログラム(D)</p> <p>次の履修方法により24単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、博士後期インターンシップI, IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単位 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4) ライフインベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大学院共通科目</p>	<p>■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。</p> <p>(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <p>(1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目</p> <p>【修士取得条件】</p> <p>学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査に合格すること。</p> <p>(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。</p> <p>(1) 大学院共通科目 (2) 学術院共通専門基礎科目 (3) 他研究群開設科目</p> <p>■ ライフインベーション(生物情報)学位プログラム(D)</p> <p>次の履修方法により24単位以上を修得すること。</p> <p>(1) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、博士後期インターンシップI, IIのいずれかを含む3単位 (2) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単位 (3) 大学院共通科目 1~3単位 (4) ライフインベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大学院共通科目</p>
--	--

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	倫理科・環境・研究	応用倫理	1-2-3後	1							2
		環境倫理学概論	1-2-3後	1							2
		研究倫理	1-2-3前	1							2
		生命倫理学	1-2-3前	1							10
		企業と技術者の倫理	1-2-3前	1			1				0
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1							1
		英語発表	1-2-3前	1							1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2							3
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1							3
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1							1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1							1
		サイエンスコミュニケーター養成実践講座	1-2-3休	2							1
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1							6
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方	1-2-3休	2							3
		国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国的多相	1-2-3後	1						
	国際研究プロジェクト		1-2-3通	1							1
	国際インターンシップ		1-2-3通	1							1
	地球規模課題と国際社会:食料問題		1-2-3後	1							4
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命		1-2-3後	1							2
地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休		1							3	
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後		1							2	
地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2-3休		1							1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2-3後		1							2	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2-3前	1							8		
キャリア・マネジメント科目群	JAPICアドバンストディスカッションコースI—多極化する世界とこれからの日本	1-2-3後	1			1				1	
	JAPICアドバンストディスカッションコースIII—テクノロジーとグローバルで拓く未来	1-2-3前	1			1				1	
	ダイバーシティとSOGI/LGBT+	1-2-3休	1							2	
	ワークライフミックス—モーハウスに学ぶパラダイムシフト	1-2-3前	1							2	
	魅力ある理科教員になるための生物・地学実験	1-2-3休	1							9	
	アクセンビリティリーダー特論	1-2-3前	1							9	
	脳の多様性とセルフマネジメント	1-2-3休	1							3	
	筑波クリエイティブ・キャンパスアドバンスト	1-2-3後	1							4	
	博士のキャリアパス	1-2-3前	1							2	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
大学院共通科目	倫理科・環境・研究	応用倫理	1-2-3後	1							2
		環境倫理学概論	1-2-3後	1							2
		研究倫理	1-2-3前	1							2
		生命倫理学	1-2-3前	1							10
		企業と技術者の倫理	1-2-3前	1			1				0
	情報伝達力・コミュニケーション力養成科目群	テクニカルコミュニケーション	1-2-3前	1							1
		英語発表	1-2-3前	1							1
		異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーションバトル	1-2-3通	2							3
		Global Communication Skills Training	1-2-3前	1							2
		サイエンスコミュニケーション概論	1-2-3前	1							1
		サイエンスコミュニケーション特論	1-2-3後	1							1
		サイエンスコミュニケーター養成実践講座	1-2-3休	2							1
		人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える	1-2-3後	1							6
		総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方	1-2-3休	2							3
		国際性養成科目群	21世紀的中国—現代中国的多相	1-2-3後	1						
	国際研究プロジェクト		1-2-3通	1							1
	国際インターンシップ		1-2-3通	1							1
	地球規模課題と国際社会:食料問題		1-2-3後	1							1
	地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命		1-2-3後	1							2
地球規模課題と国際社会:社会脳	1-2-3休		1							3	
地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題	1-2-3後		1							2	
地球規模課題と国際社会:社会問題	1-2-3後		1							1	
地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響	1-2-3後		1							2	
地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー	1-2-3休	1							5		
キャリア・マネジメント科目群	JAPICアドバンストディスカッションコースI—流動化する世界とこれからの日本	1-2-3後	1			1				1	
	JAPICアドバンストディスカッションコースIII—テクノロジーとグローバルで拓く未来	1-2-3前	1			1				1	
	ダイバーシティとSOGI/LGBT+	1-2-3休	1							1	
	ワークライフミックス—モーハウスに学ぶパラダイムシフト	1-2-3前	1							2	
	魅力ある理科教員になるための生物・地学実験	1-2-3休	1							10	
	アクセンビリティリーダー特論	1-2-3前	1							8	
	脳の多様性とセルフマネジメント	1-2-3休	1							2	
	筑波クリエイティブ・キャンパスアドバンスト	1-2-3後	1							4	
	博士のキャリアパス	1-2-3後	1							4	

リスク・レジリエンス工学関連科目	専門科目	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)	1-2-3通	1			1					1	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)	1-2-3通	1			1					1	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)	1-2-3通	1								9	
		リスク・レジリエンス工学博士特別演習	1-2-3通	2			7	5		7		16	
		リスク・レジリエンス工学博士特別研究	1-2-3通	6			7	5		7		16	
		リスク・レジリエンス・ケーススタディ	1-2-3通	1			7	5		7		16	
		リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	1-2-3通	2			7	5		7		4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップA	1-2-3通	1			7	5		7		4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップB	1-2-3通	2			7	5		7		4	
		リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	1-2-3通	2			7	5		7		4	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)	1-2-3後	1					1			3	
小計(11科目)					0	20	0	7	5	0	7	0	25
専門科目(昼夜)	システムデザイン論	1-2-3前1-	1									1	
	ネットワーク特論	2-3後1-	1									1	
	プロジェクト・マネジメント論	1-2-3前1-	1									1	
	情報マネジメント	2-3後1-	1									1	
	情報検索特論	2-3前1-	1									1	
	知的ドキュメント管理論	1-2-3前1-	1									1	
	知能情報システム	2-3後1-	1									1	
	複雑システム論	1-2-3後	1									1	
	小計(8科目)					0	8	0	0	0	0	0	4
情報理工関連科目	専門科目	異分野研究室インターシップI	1-2-3通	1			1						
		異分野研究室インターシップII	1-2-3通	1			1						
		研究型インターシップI	1-2-3通	1			1						
		研究型インターシップII	1-2-3通	1			1						
		情報理工後期特別研究	1通	6			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別演習A	1通	2			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別演習B	1-2-3通	2			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別研究s	1前	3			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別研究f	1後	3			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別演習As	1前	1			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別演習Af	1後	1			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別演習Bs	1-2-3前1-	1			25	27	3	24		6	
		情報理工後期特別演習Bf	1-2-3後	1			25	27	3	24		6	
小計(13科目)					0	24	0	25	27	3	24	0	6

リスク・レジリエンス工学関連科目	専門科目	リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)	1-2-3通	1							1		
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)	1-2-3通	1								1	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)	1-2-3通	1								9	
		リスク・レジリエンス工学博士特別演習	1-2-3通	2			8	5		6		16	
		リスク・レジリエンス工学博士特別研究	1-2-3通	6			8	5		6		16	
		リスク・レジリエンス・ケーススタディ	1-2-3通	1			8	5		6		16	
		リスク・レジリエンス工学博士PBL演習	1-2-3通	2			8	5		6		4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップA	1-2-3通	1			8	5		6		4	
		リスク・レジリエンス工学博士インターシップB	1-2-3通	2			8	5		6		4	
		リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究	1-2-3通	2			8	5		6		4	
		リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)	1-2-3後	1					1			3	
小計(11科目)					0	20	0	8	5	0	6	0	25
専門科目(昼夜)	システムデザイン論	1-2-3前1-	1									1	
	ネットワーク特論	2-3後1-	1									1	
	プロジェクト・マネジメント論	1-2-3前1-	1									1	
	情報マネジメント	2-3後1-	1									1	
	情報検索特論	2-3前1-	1									1	
	知的ドキュメント管理論	1-2-3前1-	1									1	
	知能情報システム	2-3後1-	1									1	
	複雑システム論	1-2-3後	1									1	
	小計(8科目)					0	8	0	0	0	0	0	4
情報理工関連科目	専門科目	異分野研究室インターシップI	1-2-3通	1					1				
		異分野研究室インターシップII	1-2-3通	1					1				
		研究型インターシップI	1-2-3通	1					1				
		研究型インターシップII	1-2-3通	1					1				
		情報理工後期特別研究	1通	6			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別演習A	1通	2			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別演習B	1-2-3通	2			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別研究s	1前	3			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別研究f	1後	3			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別演習As	1前	1			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別演習Af	1後	1			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別演習Bs	1-2-3前1-	1			24	27	3	20		6	
		情報理工後期特別演習Bf	1-2-3後	1			24	27	3	20		6	
小計(13科目)					0	24	0	24	27	3	20	0	6

知能機能システム関連科目	知能機能システム特別研究A	1-2-3通	4			19	12	0	16			16	
	知能機能システム特別研究B	1-2-3通	2			19	12	0	16			16	
	知能機能システム特別研究C	1-2-3通	2			19	12	0	16			16	
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習I	1-2-3通	2			19	12	0	16			15	
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習II	1-2-3通	2			19	12	0	16			15	
	知能機能システム国際会議論文発表演習	1-2-3通	2			19	12	0	16			15	
	知能機能システムコアラボラトリー演習III	1通	1			19	12	0	16			15	
	知能機能システムコアラボラトリー演習IV	2通	1			19	12	0	16			15	
	知能機能システム計画調書作成演習III	1通	1					2		9			
	知能機能システム計画調書作成演習IV	2通	1					2		9			
	小計(10科目)			0	18	0	19	12	0	16	0		16
	構造エネルギー工学関連科目	構造エネルギー工学後期特別演習	1通	2			9	13		9			9
		構造エネルギー工学後期特別研究	1通	6			9	13		9			9
構造エネルギー工学後期特別演習A		1前	1			9	13		9			9	
構造エネルギー工学後期特別演習B		1後	1			9	13		9			9	
構造エネルギー工学後期特別研究A		1前	3			9	13		9			9	
構造エネルギー工学後期特別研究B		1後	3			9	13		9			9	
小計(6科目)				0	16	0	9	13	0	9	0		9
エンバワメント情報学関連科目	エンバワメント情報学原論	1-2-3前	1			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別演習I	1通	2			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別演習II	2通	2			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別研究I	1通	4			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別研究II	2通	4			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別研究III	3通	4			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別研究IV	4通	4			15	12	0	16			1	
	エンバワメント情報学特別研究V	5通	4			15	12	0	16			1	
	エンバワメントプロジェクト研究	1-2-3通	2							1			
	エンバワメント学術雑誌論文発表演習	1-2-3-4-5通	2			15	12	0	16			1	
	エンバワメント国際会議・学術雑誌論文発表演習	1-2-3-4-5通	2			15	12	0	16			1	
	アントレプレナーシップ演習	3通	1			1			0				
	エンジニアリングレジデンス実習	4通	1			1			0				
	エンバワメント研究発表演習	1-2通	1			15	12	0	16			1	
小計(14科目)			0	34	0	15	12	0	16	0		1	
ライフィノベーション(基礎科目)	人を対象とした研究:基盤編	1通	1									2	
	博士後期ライフィノベーションセミナー	1前	1									10	
	博士後期インターシップI	1-2-3通	1									2	
	博士後期インターシップII	3通	1									1	
	小計(4科目)			0	4	0	0	0	0	0	0		14
ライフィノベーション(生物情報)関連科目	ライフィノベーション博士後期演習I秋	1後	1			1			2			9	
	ライフィノベーション博士後期演習I春	1前	1			1			2			9	
	ライフィノベーション博士後期研究I秋	1後	2			1			5			4	
	ライフィノベーション博士後期研究I春	1前	2			1			5			4	
	ライフィノベーション博士後期演習II秋	2後	1			1			2			9	

知能機能システム関連科目	知能機能システム特別研究A	1-2-3通	4			17	12	1	15			15	
	知能機能システム特別研究B	1-2-3通	2			17	12	1	15			15	
	知能機能システム特別研究C	1-2-3通	2			17	12	1	15			15	
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習I	1-2-3通	2			17	12	1	15			14	
	知能機能システム学術雑誌論文発表演習II	1-2-3通	2			17	12	1	15			14	
	知能機能システム国際会議論文発表演習	1-2-3通	2			17	12	1	15			14	
	知能機能システムコアラボラトリー演習III	1通	1			17	12	1	15			14	
	知能機能システムコアラボラトリー演習IV	2通	1			17	12	1	15			14	
	知能機能システム計画調書作成演習III	1通	1					2		8			
	知能機能システム計画調書作成演習IV	2通	1					2		8			
	小計(10科目)			0	18	0	17	12	1	15	0		15
	構造エネルギー工学関連科目	構造エネルギー工学後期特別演習	1通	2			10	13		8			9
		構造エネルギー工学後期特別研究	1通	6			10	13		8			9
構造エネルギー工学後期特別演習A		1前	1			10	13		8			9	
構造エネルギー工学後期特別演習B		1後	1			10	13		8			9	
構造エネルギー工学後期特別研究A		1前	3			10	13		8			9	
構造エネルギー工学後期特別研究B		1後	3			10	13		8			9	
小計(6科目)				0	16	0	10	13	0	8	0		9
エンバワメント情報学関連科目	エンバワメント情報学原論	1-2-3前	1			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別演習I	1通	2			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別演習II	2通	2			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別研究I	1通	4			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別研究II	2通	4			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別研究III	3通	4			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別研究IV	4通	4			14	12	1	15			1	
	エンバワメント情報学特別研究V	5通	4			14	12	1	15			1	
	エンバワメントプロジェクト研究	1-2-3通	2							1			
	エンバワメント学術雑誌論文発表演習	1-2-3-4-5通	2			14	12	1	15			1	
	エンバワメント国際会議・学術雑誌論文発表演習	1-2-3-4-5通	2			14	12	1	15			1	
	アントレプレナーシップ演習	3通	1			1			0				
	エンジニアリングレジデンス実習	4通	1			1			0				
	エンバワメント研究発表演習	1-2通	1			14	12	1	15			1	
小計(14科目)			0	34	0	14	12	1	15	0		1	
ライフィノベーション(基礎科目)	人を対象とした研究:基盤編	1通	1									2	
	博士後期ライフィノベーションセミナー	1前	1									10	
	博士後期インターシップI	1-2-3通	1									2	
	博士後期インターシップII	3通	1									1	
	小計(4科目)			0	4	0	0	0	0	0	0		14
ライフィノベーション(生物情報)関連科目	ライフィノベーション博士後期演習I秋	1後	1			1			1			4	
	ライフィノベーション博士後期演習I春	1前	1			1			1			4	
	ライフィノベーション博士後期研究I秋	1後	2			1			1			4	
	ライフィノベーション博士後期研究I春	1前	2			1			1			4	
	ライフィノベーション博士後期演習II秋	2後	1			1			1			4	

ライフ/バージョン博士後期演習II春	2前	1	1			2	9			
ライフ/バージョン博士後期研究II秋	2後	2	1				5			
ライフ/バージョン博士後期研究II春	2前	2	1				5			
ライフ/バージョン博士後期演習III秋	3後	1	1			2	9			
ライフ/バージョン博士後期演習III春	3前	1	1			2	9			
ライフ/バージョン博士後期研究III秋	3後	2	1				5			
ライフ/バージョン博士後期研究III春	3前	2	1				5			
小計(12科目)		0	18	0	1	0	0	2	0	9
合計(153科目)		0	229	0	74	75	4	63	0	224

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

(1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、IIを除く。)

(2) 博士前期課程の科目

(3) 他研究群開設科目

(4) 学術院共通専門基盤科目

(5) 大学院共通科目

ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

(1) 博士前期課程の科目

(2) 他研究群開設科目

(3) 学術院共通専門基盤科目

(4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

(※)10月入学の学生は、情報理工後期特別研究s及びf、情報理工後期特別演習As及びAfの単位を修得すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

(1) 博士前期課程の科目

(2) 他研究群開設科目

(3) 学術院共通専門基盤科目

(4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得すること。

(※)10月入学の学生は、構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別研究A、Bの単位を修得すること。

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

(1) システム情報学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程)

(2) 博士前期課程の科目

(3) 他研究群開設科目

(4) 学術院共通専門基盤科目

(5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

ライフ/バージョン博士後期演習II春	2前	1	1				4			
ライフ/バージョン博士後期研究II秋	2後	2	1				4			
ライフ/バージョン博士後期研究II春	2前	2	1				4			
ライフ/バージョン博士後期演習III秋	3後	1	1				4			
ライフ/バージョン博士後期演習III春	3前	1	1				4			
ライフ/バージョン博士後期研究III秋	3後	2	1				4			
ライフ/バージョン博士後期研究III春	3前	2	1				4			
小計(12科目)		0	18	0	1	0	0	0	0	4
合計(151科目)		0	226	0	72	76	5	57	0	205

卒業要件及び履修方法

(修了要件)

<博士後期課程>

3年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については1年(修士課程早期修了者等)にあっては当該課程における在学期間を含めて3年)以上在学すれば足りるものとする。

<5年一貫制博士課程>

5年以上在学し、学位プログラムごとに定める修了の要件として必要な授業科目の履修により所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については3年以上在学すれば足りるものとする。

(履修方法)

■社会工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目のうち、社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、II 12単位及び下記の授業科目のうちから6単位以上を修得し、合わせて20単位以上を修得すること。

(1) 学位プログラム科目群-社会工学関連科目-専門科目(社会工学博士特別演習I、II、III、IV、社会工学博士特別研究I、IIを除く。)

(2) 博士前期課程の科目

(3) 他研究群開設科目

(4) 学術院共通専門基盤科目

(5) 大学院共通科目

ただし、(2)~(5)の履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

■リスク・レジリエンス工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-リスク・レジリエンス工学関連科目-専門科目のうち、リスク・レジリエンス工学博士特別演習、リスク・レジリエンス工学博士特別研究 8単位及び同専門科目のうちから4単位以上を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

(1) 博士前期課程の科目

(2) 他研究群開設科目

(3) 学術院共通専門基盤科目

(4) 大学院共通科目

■情報理工学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-情報理工関連科目-専門科目のうち、情報理工後期特別研究、情報理工後期特別演習A 8単位及び同専門科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

(※)10月入学の学生は、情報理工後期特別研究s及びf、情報理工後期特別演習As及びAfの単位を修得すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位を専門科目として課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

(1) 博士前期課程の科目

(2) 他研究群開設科目

(3) 学術院共通専門基盤科目

(4) 大学院共通科目

■知能機能システム学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-知能機能システム関連科目-専門科目のうち、知能機能システム特別研究A、B、C、知能機能システム学術雑誌論文発表演習I 10単位及び同専門科目のうちから2単位を修得し、合わせて12単位以上を修得すること。

■構造エネルギー工学学位プログラム(D)

学位プログラム科目群-構造エネルギー工学関連科目-専門科目 8単位を修得すること。

(※)10月入学の学生は、構造エネルギー工学後期特別演習A、B及び構造エネルギー工学後期特別研究A、Bの単位を修得すること。

さらに、下記の授業科目のうちから2単位以上を修得し、合わせて10単位以上を修得すること。

(1) システム情報学研究群の学位プログラム科目群の専門科目(博士後期課程)

(2) 博士前期課程の科目

(3) 他研究群開設科目

(4) 学術院共通専門基盤科目

(5) 大学院共通科目

ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)

学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目
- (2) 学術院共通専門基礎科目
- (3) 他研究群開設科目

【修士取得条件】

学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査に合格すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目
- (2) 学術院共通専門基礎科目
- (3) 他研究群開設科目

■ ライフインベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、博士後期インターンシップI,IIのいずれかを含む3単位
- (2) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単位
- (3) 大学院共通科目 1~3単位
- (4) ライフインベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大学院共通科目

■ エンパワーメント情報学プログラム(5D)

学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計50単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査、最終達成度審査、博士論文の審査および最終試験に合格すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目
- (2) 学術院共通専門基礎科目
- (3) 他研究群開設科目

【修士取得条件】

学位プログラム科目群-エンパワーメント情報学関連科目-専門科目のうちエンパワーメント研究発表演習を除く33単位のうちから15単位を修得すること。さらに、学位プログラム科目群のうち他関連科目を含む専門科目及び博士前期課程の研究群共通科目群から計17単位以上を修得し、合計して計32単位以上を修得するとともに、博士論文研究基礎力審査に合格すること。

(注)下記の授業科目を履修し修得した単位は、その4単位までを課程修了に必要な修得単位に含めることができる。ただし、履修に際しては学生の過去の履修歴を勘案した指導教員の事前許可を得ること。

- (1) 大学院共通科目
- (2) 学術院共通専門基礎科目
- (3) 他研究群開設科目

■ ライフインベーション(生物情報)学位プログラム(D)

次の履修方法により24単位以上を修得すること。

- (1) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-基礎科目のうち、博士後期インターンシップI,IIのいずれかを含む3単位
- (2) 学位プログラム科目群-ライフインベーション(生物情報)関連科目-専門科目 18単位
- (3) 大学院共通科目 1~3単位
- (4) ライフインベーション学位プログラムの他領域の科目、他の学位プログラムの科目、大学院共通科目

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度】(新)→【令和5年度】(新)→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度】(旧)→【令和5年度】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・授業方法の変更により、「企業と技術者の倫理」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「異分野コミュニケーションのためのプレゼンテーション」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「6」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「21世紀的中国—現代中国的多相—」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「9」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「3」に変更。
 - ・担当内容変更により、「地球規模課題と国際社会:感染症・保健医療問題」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「5」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「ワケイミックス-モダニズムの学び」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・担当教員追加及び退職により、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「脳の多様性と脳マッピング」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・教育内容充実のため、「筑波カレッジ・キャンパス」博士のキャリアパスを選択科目に追加。
 - ・授業内容充実のため、「科学的発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「21世紀と宗教」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「4」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「UT-Top Academicist's Lecture」を選択科目に追加。
 - ・担当教員加療のため、「現代アート入門」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
 - ・担当教員昇任及び退職により、「社会学インターシップ」「社会学ファシリテーター育成プログラム」「社会学ファシリテーター育成プログラムII」「社会学ファシリテーター育成プログラムIII」「社会学ファシリテーター育成プログラムIV」の専任教員等の配置の「教授16、准教授24」を「教授17、准教授20」に変更。
 - ・担当教員昇任及び退職並びに指導体制充実のため、「社会学博士特別演習I」「社会学博士特別演習II」「社会学博士特別演習III」「社会学博士特別演習IV」の専任教員等の配置の「教授16、准教授24、助教8」を「教授17、准教授20、助教10」に、兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「リスク・レジリエンス工学博士特別講義(セキュリティ)」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
 - ・授業内容充実のため、「リスク・レジリエンス工学博士特別講義(都市防災・リスク情報論)」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。
 - ・授業内容充実のため、「リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネスリスク)」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「9」に変更。
 - ・新規教員就任及び担当教員昇任により、「リスク・レジリエンス工学博士特別演習」「リスク・レジリエンス工学博士特別研究」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、助教5」から「教授8、准教授5、助教6」に、兼任・兼任教員の配置を「15」から「16」に変更。
 - ・新規教員就任及び担当教員昇任並びに指導体制充実のため、「リスク・レジリエンス工学博士特別演習」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、助教5」から「教授8、准教授5、助教6」に、兼任・兼任教員の配置を「4」から「16」に変更。
 - ・新規教員就任及び担当教員昇任により、「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士インターシップA」「同B」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の専任教員等の配置を「教授7、准教授6、助教5」から「教授8、准教授5、助教6」に変更。
 - ・教育内容充実のため、「リスク・レジリエンス工学博士特別講義(情報知能災害リスクマネジメント)」を選択科目に追加。
 - ・関係組織との調整により、「システムデザイン論」「プロジェクトマネジメント論」「情報検索特論」「知的ドキュメント管理論」の配当年次を「1・2・3通」から「1・2・3前」に、「ネットワーク特論」「情報マネジメント」「知能情報システム」「複雑システム論」の配当年次を「1・2・3通」から「1・2・3後」に変更。
 - ・新規教員就任及び担当教員昇任により、「情報理工後期特別研究」「情報理工後期特別演習A」「同B」の専任教員等の配置の「教授20、准教授25、助教17」を「教授24、准教授27、助教20」に変更。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により渡日できない外国人留学生の入学時期を10月1日に変更したことに伴い、秋入学用の科目として「情報理工後期特別研究s」「同f」「情報理工後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」を開設。
 - ・新規教員就任並びに担当教員昇任及び退職により、「知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」の専任教員等の配置の「教授15、准教授14、助教11」を「教授17、准教授12、助教15」に、兼任・兼任教員の配置を「14」から「15」に変更。
 - ・新規教員就任並びに担当教員昇任及び交代により、「知能機能システム学術雑誌論文発表演習I」「同II」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムラボラトリ演習III」「同IV」の専任教員等の配置の「教授15、准教授14、助教11」を「教授17、准教授12、助教15」に変更。
 - ・新規教員就任並びに担当教員昇任及び退職により、「構造エネルギー工学後期特別演習」「構造エネルギー工学後期特別研究」の専任教員等の配置の「教授9、准教授12」を「教授10、准教授13」に変更。
 - ・新型コロナウイルス感染症の影響により渡日できない外国人留学生の入学時期を10月1日に変更したことに伴い、秋入学用の科目として「構造エネルギー工学後期特別演習A」「同B」「構造エネルギー工学後期特別研究A」「同B」を開設。
 - ・新規教員就任並びに担当教員昇任及び交代により、「エンバワメント情報学特別演習I」「同II」「エンバワメント情報学特別研究I」「同III」「同III」」「同IV」「同V」「エンバワメント学術雑誌論文発表演習」「エンバワメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンバワメント研究発表演習」の専任教員等の配置の「准教授14、助教11」を「准教授12、助教15」に変更。
 - ・担当教員交代により、「アソシエイト・演習」「インテリジェントデザイン実習」の担当教員を「助教1」から「教授1」に変更。
 - ・授業内容充実のため、「人を対象とした研究:基礎編」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「10」に変更。
 - ・指導体制充実のため、「博士後期イノベーションセミナー」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「12」に変更。
 - ・指導体制充実のため、「博士後期インターシップ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
 - ・指導体制充実のため、「ライフパシフィック」博士後期演習I秋」「同I春」「同II秋」「同II春」「同III秋」「同III春」「同IV秋」「同IV春」「同V秋」「同V春」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。
 - ・情報理工学位プログラム及び構造エネルギー工学学位プログラムにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により渡日できない外国人留学生の入学時期を10月1日に変更したことに伴い、秋入学用の履修方法を追加。
- ※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の一時的な開講時期の変更等が生じた。

【令和3年度】

- ・授業内容充実のため、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育内容充実のため、「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」を選択科目に追加。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:食料問題」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「4」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「地球規模課題と国際社会:社会問題」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3休」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「地球規模課題と国際社会:環境・エネルギー」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3前」に変更。授業内容充実のため、同科目の兼任・兼任教員の配置を「5」から「8」に変更。
- ・科目名称適正化のため、「JAPIC7ドバイドバイス・イノベーション-流動化する世界とこれからの日本」の副題の一部変更。
- ・授業内容充実のため、「JAPIC7ドバイドバイス・イノベーション-多極化する世界とこれからの日本」「同III-テクノロジーとグローバルで開く未来」の担当教員の配置に「兼任・兼任1」を追加。
- ・授業内容充実のため、「ダイバーシティとSOGI/LGBT+」の担当教員の配置の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員退職により、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「10」から「9」に変更。
- ・授業内容充実のため、「アソシエイト・特論」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
- ・授業内容充実のため、「脳の多様性と脳マッピング」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「博士のキャリアパス」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。担当教員交代により、同科目の兼任・兼任教員の配置を「4」から「2」に変更。
- ・授業内容充実のため、「科学的発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「「考える」動物としての人間-東西哲学からの考察」の兼任・兼任教員の配置を「5」から「7」に変更。
- ・授業内容充実のため、「ヨコガウスの兼任・兼任教員の配置を「1」から「3」に変更。
- ・担当教員伏見により、「現代アート入門」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に復旧。
- ・教育内容充実のため、「書実習基礎」を選択科目に追加。
- ・担当教員退職に伴い、「社会学インターシップ」「社会学ファシリテーター育成プログラム」「同II」の専任教員等の配置の「准教授20」を「准教授19」に、兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
- ・担当教員退職に伴い、「社会学ファシリテーター育成プログラムII」「同IV」の専任教員等の配置の「准教授20」を「准教授19」に変更。
- ・担当教員退職に伴い、「社会学博士特別演習I」「同II」「同III」「同IV」「社会学博士特別研究I」「同II」の専任教員等の配置の「准教授20」を「准教授19」に、兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員見直しにより、「リスク・レジリエンス工学博士特別演習」「リスク・レジリエンス工学博士特別研究」「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士インターシップA」「同B」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の専任教員等の配置の「教授8、助教6」を「教授7、助教7」に変更。
- ・新規教員配置により、「情報理工後期特別研究」「情報理工後期特別演習A」「情報理工後期特別演習B」「情報理工後期特別研究s」「同f」「情報理工後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」の専任教員等の配置の「教授24、助教20」を「教授25、助教24」に変更。

- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」の専任教員等の配置の「教授17、講師1、助教15」を「教授19、助教16」に、兼任・兼任教員の配置を「15」から「16」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「知能機能システム学術雑誌論文発表演習」「同II」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムポスター演習III」「同IV」の専任教員等の配置の「教授17、講師1、助教15」を「教授19、助教16」に、兼任・兼任教員の配置を「14」から「15」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「知能機能システム計画書作成演習III」「同IV」の専任教員等の配置の「助教8」を「助教9」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「構造工学-工学後期特別演習」「構造工学-工学後期特別研究」「構造工学-工学後期特別演習A」「同B」「構造工学-工学後期特別研究A」「同B」の専任教員等の配置の「教授10、助教8」を「教授9、助教9」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「エンバウメント情報学原論」「エンバウメント情報学特別演習I」「同II」「エンバウメント情報学特別研究I」「同III」「同IV」「同V」「エンバウメント学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント研究発表演習」の専任教員等の配置の「教授14、講師1、助教15」を「教授15、助教16」に変更。
- ・指導体制充実のため、「ライフパベーション博士後期演習1秋」「同1春」「同II秋」「同II春」「同III秋」「同III春」の専任教員等の配置に「助教2」を追加、兼任・兼任教員の配置を「4」から「8」に変更。
- ・指導体制充実のため、「ライフパベーション博士後期研究1秋」「同1春」「同II秋」「同II春」「同III秋」「同III春」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「9」に変更。

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により授業科目の一時的な開講時期の変更等が生じた。

【令和4年度】

- ・授業内容を踏まえ、「英語発表」の授業科目の名称を「Presentations for General Audiences」に変更。
- ・担当教員退職により、「人文知コミュニケーション:人文社会科学と自然科学の壁を超える」の兼任・兼任教員の配置を「6」から「2」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3後」に変更。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・授業内容充実のため、「地球規模課題と国際社会:社会脳」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。
- ・授業内容を踏まえ、「JAPIC7ドバノストイカクシヨウコノスII-テカノゾ-とグローバルで拓く未来」の授業科目の名称を「JAPIC7ドバノストイカクシヨウコノスII-次世代モバイルのマーケットデザインと計算科学」に変更。
- ・担当教員退職により、「アケビリイラダー理論」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「8」に変更。
- ・授業内容充実のため、「脳の多様性と認知シフト」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「4」に変更。
- ・履修上の配慮により、「社会学的発見と創造性」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・授業内容充実のため、「考える動物としての人間-東西哲学からの考察」の兼任・兼任教員の配置を「7」から「8」に変更。
- ・担当教員交代により、「コミュニケーション&デザインB」の兼任・兼任教員の配置を「7」から「8」に変更。
- ・担当教員追加及び昇任・退職により、「社会工学インターシップ」「社会工学フェリテーター育成プログラム」「同II」の専任教員等の配置の「教授17、准教授19、助教8」を「教授19、准教授18、助教11」に、兼任・兼任教員の配置を「9」から「8」に変更。
- ・担当教員追加及び昇任により、「社会工学フェリテーター育成プログラムIII」「同IV」の専任教員等の配置の「教授17、准教授19、助教8」を「教授19、准教授18、助教11」に変更。
- ・担当教員追加及び昇任・退職により、「社会工学博士特別演習I」「同II」「同III」「同IV」「社会工学博士特別研究I」「同II」の専任教員等の配置の「教授17、准教授19、助教10」を「教授19、准教授18、助教11」に変更、兼任・兼任教員の配置を「10」から「8」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「社会工学博士特別演習I」「同II」「同III」「同IV」「社会工学博士特別研究I」「同II」の配当年次をそれぞれ「1前」「1後」「2前」「2後」「3前」「3後」から「1通」「1通」「2通」「2通」「3通」「3通」に変更。
- ・指導体制充実及び担当教員昇任により、「リスク・レジリエンス工学博士特別演習」の専任教員等の配置の「教授7、准教授5」を「教授8、准教授4」に変更、兼任・兼任教員の配置を「16」から「18」に変更。
- ・指導体制充実及び担当教員昇任により、「リスク・レジリエンス工学博士特別研究」の専任教員等の配置の「教授7、准教授5」を「教授9、准教授4」に、兼任・兼任教員の配置を「16」から「18」に変更。
- ・指導体制充実及び担当教員昇任により、「リスク・レジリエンス・ケーススタディ」「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士インターシップA」「同B」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の専任教員等の配置の「教授7、准教授5」を「教授8、准教授4」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員昇任・退職により、「情報理工後期特別研究」「情報理工後期特別演習A」「同B」「情報理工後期特別研究s」「同f」「情報理工後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」の専任教員等の配置の「准教授27、講師3、助教24」を「准教授30、講師2、助教20」に、兼任・兼任教員の配置を「6」から「8」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員昇任により、「知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」の専任教員等の配置を「教授19、准教授12、助教16」から「教授21、准教授13、助教14」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員昇任により、「知能機能システム学術雑誌論文発表演習I」「同II」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムポスター演習III」「同IV」の専任教員等の配置を「教授19、准教授12、助教16」から「教授21、准教授13、助教14」に、兼任・兼任教員の配置を「15」から「16」に変更。
- ・担当教員昇任及び退職により、「知能機能システム計画書作成演習III」「同IV」の専任教員等の配置を「准教授2、助教9」から「准教授3、助教7」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員昇任・退職により、「構造工学-工学後期特別演習」「構造工学-工学後期特別研究」「構造工学-工学後期特別演習A」「同B」「構造工学-工学後期特別研究A」「同B」の専任教員等の配置の「教授9、助教9」を「教授10、助教7」に変更、兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員昇任・退職により、「エンバウメント情報学原論」「エンバウメント情報学特別演習I」「同II」「エンバウメント情報学特別研究I」「同III」「同IV」「同V」「エンバウメント学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント研究発表演習」の専任教員等の配置を「教授15、准教授12、助教16」から「教授17、准教授13、助教14」に変更、兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。
- ・履修上の配慮のため、「アトブレナラップ演習」の配当年次を「3通」から「3前」に変更。授業内容充実のため担当教員の配置に「兼任・兼任1」を追加。
- ・指導体制充実のため、「博士後期インターシップII」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・指導体制充実及び担当教員昇任のため、「ライフパベーション博士後期演習1秋」「同1春」「同II秋」「同II春」「同III秋」「同III春」の専任教員等の配置の「助教2」を「助教11」に変更、兼任・兼任教員の配置を「9」から「13」に変更。
- ・指導体制充実のため、「ライフパベーション博士後期研究1秋」「同1春」「同II秋」「同II春」「同III秋」「同III春」の専任教員等の配置に「准教授1、助教1」を追加、兼任・兼任教員の配置を「5」から「13」に変更。

※上記のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により次の授業科目の開講時期に一時的な変更が生じた。

Global Communication Skills Training、博士後期ライフパベーション

【令和5年度】

- ・担当教員見直しにより、「Global Communication Skills Training」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「総合資料学:歴史文化の高度化研究とその伝達方法」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3休」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「21世紀の中国—現代中国の多相—」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3休」に変更。
- ・担当教員退職に伴う担当教員変更により、「地球規模課題と国際社会:環境汚染と健康影響」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・教育内容充実のため、「外交実務の実際と国際関係論」を選択科目に追加。
- ・教育内容充実のため、「Discussing Japan's political economy」を選択科目に追加。
- ・授業内容を踏まえ、「JAPIC7ドバノストイカクシヨウコノスII-次世代モバイルのマーケットデザインと計算科学」の授業科目の名称を「JAPIC7ドバノストイカクシヨウコノスII-日本が目指すSociety5.0と次世代モバイル」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「ワークライフバランス-モバウスに学ぶラダシフト」の配当年次を「1・2・3前」から「1・2・3後」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「海洋生物の世界と海洋環境講座」の配当年次を「1・2・3休」から「1・2・3後」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「科学的発見と創造性」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「科学の発見と創造性」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「考える動物としての人間-東西哲学からの考察」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「6」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「コミュニケーション&デザインA」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「6」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「日本画実習」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の昇任・退職及び授業内容充実のため、「社会工学インターシップ」「社会工学フェリテーター育成プログラム」「同II」「社会工学フェリテーター育成プログラムIII」「同IV」「社会工学博士特別演習I」「同II」「同III」「同IV」「社会工学博士特別研究I」「同II」の専任教員等の配置の「教授19、准教授18、助教11」を「教授21、准教授19、助教9」に変更。
- ・担当教員退職により、「リスク・レジリエンス工学博士特別演習」「リスク・レジリエンス工学博士特別研究」の専任教員等の配置の「助教7」を「助教6」に、兼任・兼任教員の配置を「18」から「16」に変更。

- ・担当教員退職により、「リスク・レジリエンス・ケーススタディ」の専任教員等の配置の「助教7」を「助教6」に、兼任・兼任教員の配置を「16」から「14」に変更。
- ・担当教員退職により、「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA」「同B」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の専任教員等の配置の「助教7」を「助教6」に、「リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA」「同B」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。
- ・担当教員退職により、「ネットワーク特論」「情報マネジメント」の兼任・兼任教員の配置の「1」を削除。
- ・授業内容充実のため「異分野研究室インターンシップⅠ」「同Ⅱ」「研究型インターンシップⅠ」「同Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授3、助教1」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、により、「情報理工後期特別研究」「情報理工後期特別演習A」「同B」「情報理工後期特別研究s」「同f」「情報理工後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」「情報理工分野横断後期特別演習」の専任教員等の配置の「教授25、准教授30、助教20」を「教授27、准教授29、助教17」に、兼任・兼任教員の配置を「8」から「9」に変更。
- ・教育内容充実のため、「AI応用研究インターンシップ」「情報理工分野横断後期特別演習」を選択科目に追加。
- ・新規教員配置及び担当教員の昇任・退職により、「情知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」「知能機能システム学術雑誌論文発表演習Ⅰ」「同Ⅱ」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムラボラトリー演習ⅢⅠ」「同Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授21、准教授13、助教14」から「教授20、准教授14、助教11」に、兼任・兼任教員の配置を「16」から「15」に変更。
- ・担当教員の昇任及び退職により、「知能機能システム計画調査作成演習ⅢⅠ」「同Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授3、助教7」から「准教授5、助教4」に変更。
- ・担当教員の昇任・退職及び指導体制の充実のため、「構造エネルギー-工学後期特別演習」「構造エネルギー-工学後期特別研究」「構造エネルギー-工学後期特別演習A」「同B」「構造エネルギー-工学後期特別研究A」「同B」の専任教員等の配置の「教授10、准教授13、助教7」を「教授11、准教授12、助教6」に、兼任・兼任教員の配置を「10」から「11」に変更。
- ・担当教員の昇任及び退職により、「エンバウメント情報学原論」「エンバウメント情報学特別演習Ⅰ」「同Ⅱ」「エンバウメント情報学特別研究Ⅰ」「同Ⅱ」「同ⅢⅠ」「同Ⅳ」「同Ⅴ」「エンバウメント学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント研究発表演習」の専任教員等の配置の「准教授13、助教14」を「准教授14、助教11」に変更。
- ・担当教員昇任及び指導体制充実のため、「ライフパベーション博士後期演習Ⅰ秋」「同Ⅰ春」「同Ⅱ秋」「同Ⅱ春」「同Ⅲ秋」「同Ⅲ春」「ライフパベーション博士後期研究Ⅰ秋」「同Ⅰ春」「同Ⅱ秋」「同Ⅱ春」「同Ⅲ秋」「同Ⅲ春」の専任教員等の配置の「准教授1」を「准教授2」に、兼任・兼任教員の配置を「13」から「26」に変更。

【令和6年度】

- ・担当教員見直しにより、「地球規模課題と国際社会:食料問題」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「地球規模課題と国際社会:海洋環境変動と生命」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・開講時期の見直しにより、「Discussing Japan's political economy」の配当年次を「1・2・3後」から「1・2・3前」に変更。
- ・教育内容充実のため、「Inclusive Smart Society 概論Ⅰ」「Inclusive Smart Society 概論Ⅱ」「Inclusive Smart Society PBL」を選択科目に追加。
- ・授業内容を踏まえ、「JAPIC7ドバンストデスカッションコースⅡ-日本が目指すSociety5.0と次世代モビリティ」の科目名称を「JAPIC7ドバンストデスカッションコースⅡ-次世代モビリティと未来社会像」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「魅力ある理科教員になるための生物・地学実験」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「10」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「脳の多様性と認知」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「3」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「考える」動物としての人間-東西哲学からの考察」の兼任・兼任教員の配置を「6」から「4」に変更。
- ・教育内容充実のため、「スポーツパフォーマンス向上のための先端的体・医・工融合研究」を選択科目に追加。
- ・担当教員見直しにより、「コミュニケーションアート&デザイン」の兼任・兼任教員の配置を「8」から「7」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「3-Yコース」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員退職により、「社会工学インターンシップ」「社会工学フェシリター育成プログラムⅠ」「同Ⅱ」「社会工学フェシリター育成プログラムⅢⅠ」「同Ⅳ」「社会工学博士特別演習Ⅰ」「同Ⅱ」「同ⅢⅠ」「同Ⅳ」「社会工学博士特別研究Ⅰ」「同Ⅱ」の専任教員等の配置の「教授21、准教授19」を「教授20、准教授18」に、兼任・兼任教員の配置を「8」から「6」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「リスク・レジリエンス工学博士特別講義(ビジネス)」の兼任・兼任教員の配置を「9」から「8」に変更。
- ・新規教員配置により、「リスク・レジリエンス工学博士特別演習」「リスク・レジリエンス工学博士特別研究」「リスク・レジリエンス・ケーススタディ」「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA」「同B」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の専任教員等の配置の「准教授4、助教6」を「准教授5、助教7」に変更。
- ・担当教員退職により、「リスク・レジリエンス・ケーススタディ」の兼任・兼任教員の配置を「14」から「13」に変更。
- ・担当教員退職により、「リスク・レジリエンス工学博士PBL演習」「リスク・レジリエンス工学博士プロジェクト研究」の兼任・兼任教員の配置を「4」から「3」に、「リスク・レジリエンス工学博士インターンシップA」「同B」の兼任・兼任教員の配置を「3」から「2」に変更。
- ・新規教員配置及び退職により、「情報理工後期特別研究」「情報理工後期特別演習A」「同B」「情報理工後期特別研究s」「同f」「情報理工後期特別演習As」「同Af」「同Bs」「同Bf」「情報理工分野横断後期特別演習」の専任教員等の配置の「准教授29、助教17」を「准教授28、助教16」に、兼任・兼任教員の配置を「9」から「8」に変更。
- ・新規教員配置及び担当教員退職により、「情知能機能システム特別研究A」「同B」「同C」「知能機能システム学術雑誌論文発表演習Ⅰ」「同Ⅱ」「知能機能システム国際会議論文発表演習」「知能機能システムラボラトリー演習ⅢⅠ」「同Ⅳ」の専任教員等の配置の「教授20、助教11」を「教授18、助教12」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「構造エネルギー-工学後期特別演習」「構造エネルギー-工学後期特別研究」「構造エネルギー-工学後期特別演習A」「同B」「構造エネルギー-工学後期特別研究A」「同B」の兼任・兼任教員の配置を「11」から「10」に変更。
- ・指導体制充実のため、「エンバウメント情報学原論」「エンバウメント情報学特別演習Ⅰ」「同Ⅱ」「エンバウメント情報学特別研究Ⅰ」「同Ⅱ」「同ⅢⅠ」「同Ⅳ」「同Ⅴ」「エンバウメント学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント国際会議・学術雑誌論文発表演習」「エンバウメント研究発表演習」の専任教員等の配置の「教授17、助教11」を「教授18、助教12」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「アントラレナシップ演習」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「0」に変更。
- ・指導体制充実のため、「人を対象とした研究:基盤編」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・担当教員見直しにより、「博士後期ライフパベーション」の兼任・兼任教員の配置を「10」から「9」に変更。
- ・指導体制充実のため、「ライフパベーション博士後期演習Ⅰ秋」「同Ⅰ春」「同Ⅱ秋」「同Ⅱ春」「同Ⅲ秋」「同Ⅲ春」「ライフパベーション博士後期研究Ⅰ秋」「同Ⅰ春」「同Ⅱ秋」「同Ⅱ春」「同Ⅲ秋」「同Ⅲ春」の兼任・兼任教員の配置を「26」から「30」に変更。
- ・科目編成見直しにより、「ライフパベーション博士研究Ⅰ」「同Ⅱ」「同ⅢⅠ」「同Ⅳ」「同Ⅴ」「同Ⅵ」を選択科目に追加。

- (注) ・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	137 科目	0 科目	137 科目	0 科目 [0]	173 科目 [36]	0 科目 [0]	173 科目 [36]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{137} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	1,373,254 m ²	0 m ²	0 m ²	1,373,254 m ²			
	運動場用地	344,887 m ²	0 m ²	0 m ²	344,887 m ²			
	小 計	1,718,141 m ²	0 m ²	0 m ²	1,718,141 m ²			
	そ の 他	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m ² 798,027 m ² 798,039 m ²	0 m ²	0 m ²	797,247 m ² 796,323 m ² 798,532 m ² 798,027 m ² 798,039 m ²	建物の新築、改築による(2) 建物の新築、改築による(3) 建物の新築等による(4) 建物の新築等による(5)		
	合 計	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m ² 2,516,168 m ² 2,516,180 m ²	0 m ²	0 m ²	2,515,388 m ² 2,514,464 m ² 2,516,673 m ² 2,516,168 m ² 2,516,180 m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m ² 479,420 m ² 479,471 m ² -(478,742 m ²) -(479,158 m ²) -(479,537 m ²) -(479,420 m ²) (479,471 m ²)	0 m ² (0 m ²)	0 m ² (0 m ²)	478,742 m ² 479,158 m ² 479,537 m ² 479,420 m ² 479,471 m ² -(478,742 m ²) -(479,158 m ²) -(479,537 m ²) -(479,420 m ²) (479,471 m ²)	建物の新築による(2) 建物の新築等による(3) 建物の新築、既存建物面積の修正等による(4) 既存建物の面積修正による(6)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	332室 336室	300室 293室 294室	2,031室 2,030室 2,032室 2,029室	(補助職員12人) 10人 12人 13人 19人	7室 0室 1室 5室 (補助職員14人) 15人 16人 14人 12人 10人	改修工事による用途見直し、語学学習施設の耐震改修(一般教室で代替中)、人事異動等のため(2) 改修工事による用途見直し、語学学習システムのオンライン化、人事異動等のため(3) 改修工事による用途見直しのため(4) 改修工事終了、人事異動のため(5) CEGLOC及び社会工学類の計算機システムを全学計算機システムに統合したため/人事異動のため(6)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数				
		大学全体		1,831 1,830 室		改修工事による用途見直しのため(3)		
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能なため、大学全体の数
	大学全体	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,211]) (2,727,143 [1,050,669]) (2,731,827 [1,046,427]) (2,743,038 [1,047,559])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,507 [12,914]) (30,749 [12,969]) (30,829 [12,990]) (30,920 [13,004])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961]) (37,333 [37,270]) (39,541 [39,485])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537) (17,546) (17,627)	24,989 (24,989)	551 (551)	資料購入により図書・雑誌数増加、資料除籍のため視聴覚資料数減少(3) 資料購入により図書・雑誌・視聴覚資料数増加(4) 資料購入により図書・雑誌・視聴覚資料数増加(5) 資料購入により図書・雑誌・視聴覚資料数増加(6)
	計	2,681,796 [1,044,194] (2,698,129 [1,046,608]) (2,712,400 [1,048,211]) (2,727,143 [1,050,669]) (2,731,827 [1,046,427]) (2,743,038 [1,047,559])	30,364 [12,874] (30,447 [12,889]) (30,507 [12,914]) (30,749 [12,969]) (30,829 [12,990]) (30,920 [13,004])	31,466 [31,404] (32,769 [32,693]) (32,018 [31,965]) (37,024 [36,961]) (37,333 [37,270]) (39,541 [39,485])	17,262 (17,345) (17,219) (17,537) (17,546) (17,627)	24,989 (24,989)	551 (551)	

(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (2) 医学図書館ラーニングコモンズ設置に伴い閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (3) 閲覧室レイアウト変更により閲覧座席数減少、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (4) PC席追加により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (5) 閲覧室レイアウト変更等により閲覧座席数増加、書架棚数増加により収容可能冊数増加 (6)		
	30,041 m ²		2,230 2,233 2,238 2,236 2,247 2,251		2,606,501 2,607,028 2,613,611 2,615,500 2,626,722 2,627,472				
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					屋内プールは体育館面積に含まれているため (2) 増築等による (4)	
	22,713 m² 22,765 m ²		テニスコート、ハンドボール場、ラグビー場、サッカー場、陸上競技場、屋内プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	筑波大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	4
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
人文・文化学群	4	240	0	960	-	1.06	1.00	-	平成19	-				
人文学類	4	120	0	480	学士(人文学)	1.08	1.01	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
比較文化学類	4	80	0	320	学士(比較文化)	1.11	1.03	-	平成19	同上				
日本語・日本文化学類	4	40	0	160	学士(文学)(日本語教育)	0.92	-	-	平成19	同上				
社会・国際学群	4	160	3年次10	660	-	1.11	1.02	-	平成19	-				
社会学類	4	80	10	340	学士(社会学)(法学)(政治学)(経済学)(国際社会科学)	1.05	1.00	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
国際総合学類	4	80	0	320	学士(国際関係学)(国際開発学)(国際社会科学)	1.17	1.05	-	平成19	同上				
人間学群	4	120	0	480	-	1.10	1.06	-	平成19	-				
教育学類	4	35	0	140	学士(教育学)	1.08	1.03	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
心理学類	4	50	0	200	学士(心理学)	1.12	1.08	-	平成19	同上				
障害科学類	4	35	0	140	学士(障害科学)(特別支援教育)(社会学)	1.10	1.06	-	平成19	同上				
生命環境学群	4	250	3年次10	1020	-	1.05	1.02	-	平成19	-				
生物学類	4	80	0	320	学士(理学)	1.06	1.01	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
生物資源学類	4	120	10	500	学士(生物資源科学)(農学)	1.04	1.01	-	平成19	同上				
地球学類	4	50	0	200	学士(理学)	1.10	1.06	-	平成19	同上				
理工学群	4	520	3年次10	2100	-	1.09	1.03	-	平成19	-				
数学類	4	40	0	160	学士(理学)	1.07	1.00	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
物理学類	4	60	0	240	学士(理学)	1.15	1.05	-	平成19	同上				
化学類	4	50	0	200	学士(理学)	1.08	1.03	-	平成19	同上				
応用理工学類	4	120	10	500	学士(工学)	1.06	1.02	-	平成19	同上				
工学システム学類	4	130	0	520	学士(工学)	1.11	1.04	-	平成19	同上				
社会工学類	4	120	0	480	学士(社会工学)	1.08	1.04	-	平成19	同上				
情報学群	4	230	3年次30	980	-	1.15	1.06	-	平成19	-				
情報科学類	4	80	10	340	学士(情報科学)(情報工学)	1.14	1.06	-	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
情報メディア創成学類	4	50	10	220	学士(情報メディア科学)	1.17	1.06	-	平成19	茨城県つくば市春日1-2				
知識情報・図書館学類	4	100	10	420	学士(図書館情報学)	1.16	1.07	-	平成19	同上				
医学群(修業年限6年)	6	134	2年次5	830	-	0.99	-	令和6	平成19	-				
医学類	6	134	5	830	学士(医学)	0.99	-	令和6	平成19	茨城県つくば市天王台1-1-1				
医学群(修業年限4年)	4	107	3年次13	454	-	1.05	1.00	-	平成19	-				

令和6年度入学定員変更(98→134)

看護学類	4	70	10	300	学士 (看護学) (ヘルステア)	1.06	1.00	-	平成19	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
医療科学類	4	37	3	154	学士 (医療科学) (国際医療科 学)	1.05	1.00	-	平成19	同上	
体育専門学群	4	240	0	960	学士 (体育学)	1.10	1.07	-	昭和49	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
芸術専門学群	4	100	0	400	学士 (芸術学)	1.13	1.06	-	昭和50	茨城県つくば市 天王台1-1-1	
学際サイエンス・デ ザイン専門学群	4	40	0	160	学士 (学術)	-	-	-	令和6	Wisma R&D, Universiti Malaya, Jalan Pantai Baharu, 59990 Kuala Lumpur, Malaysia	令和6年9月設置
大学全体	4	2,007	3年次 73	8,174	-	-	-	-	-	-	
	6	134	2年次 5	830	-	-	-	-	-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和7年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 博士後期課程/一貫制博士課程>

(1) -① 担当教員表
掲載省略

(1) -② 担当教員表に関する変更内容
掲載省略

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
36	3	0
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
64	79	5	49	197	0	81	76	3	47	207	0
(71)	(76)	(5)	(57)	(209)	(0)						
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
143	64	54	0			176	81	31	0		
(146)	(71)	(63)	(0)			(146)	(71)	(63)	(0)		
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
81	76	3	47	207	0	81	76	3	47	207	0
[17]	[Δ3]	[Δ2]	[Δ2]	[10]	[0]	[17]	[Δ3]	[Δ2]	[Δ2]	[10]	[0]
研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数		研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
うち教授数			うち教授数								
176	81	31	0			176	81	31	0		
[33]	[17]	[Δ23]	[0]			[33]	[17]	[Δ23]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要費済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	1
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{207}{197} = 105.07\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{207} = 0.48\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		掲載省略					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	35	科目	選択	35	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	35	科目	計	35	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		掲載省略					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
20	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	257	科目	選択	257	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	257	科目	計	257	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
24	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	292	科目	選択	292	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	292	科目	計	292	科目
		必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) 一④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{24}{197} = 12.18\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

3 人

(注) ・ (3) 一①、(3) 一②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由					
		掲載省略									
合計					後任補充状況の集計						
辞任した教員数			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
8 人			必修 0 科目			必修 0 科目			必修 0 科目		
			選択 69 科目			選択 69 科目			選択 0 科目		
			自由 0 科目			自由 0 科目			自由 0 科目		
			計 69 科目			計 69 科目			計 0 科目		

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(R2) 4名が就任辞退となったが、新規教員として教授2名、准教授3名、助教11名を配置して教育体制を充実させるとともに、未就任教員の担当予定科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。
 (R3) 4名が辞任となったが、新規教員として教授1名、助教3名を配置して教育体制を充実させるとともに、辞任した教員の担当科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。
 (R4) 5名が辞任となったが、新規教員として教授2名、助教8名を配置して教育体制を充実させるとともに、辞任した教員の担当科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。
 (R5) 8名が辞任、3名が定年退職となったが、新規教員として教授1名、准教授2名、助教3名を配置し、過年度の異動と合わせて専任教員の配置は設置時の計画に対して11人増となっている。辞任・定年退職した教員の担当科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。
 (R6) 3名が辞任、4名が定年退職となったが、新規教員として教授2名、准教授1名、助教4名を配置し、過年度の異動と合わせて専任教員の配置は設置時の計画に対して10人増となっている。辞任・定年退職した教員の担当科目はすべて専任教員が担当しており、学生の履修等への影響はない。学生には開設授業科目一覧等で変更内容を周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
事前伺い時 (令和元年)	「専門学位」設定の意義について、既存の教育課程で授与される学位に「専門学位」を定義することによりもたらされ得る学生へのメリットが分かりづらいため、「専門学位」及び「研究学位」の意味及び意義について、学生に丁寧な説明を十分に行うとともに、社会に対しても適切に周知することが望まれる。 (助言事項)	【事前伺い】助言事項 「専門学位」設定の意義並びに「専門学位」及び「研究学位」の意味の説明について、本学の大学院改革の要点をまとめたパンフレットを制作し、WEB並びに紙媒体での広報を行っている（別紙1を参照）。 また、新組織の設置に伴い事前に実施した企業アンケート及び学生向け説明会においても、「専門学位」設定の意義並びに「専門学位」及び「研究学位」の意味について説明を行っている。 ※企業アンケート（2019.1～2019.2、配付先690社、回答数244社） ※学生向け説明会（2018.12～2019.2/計7回で延べ230名以上が参加）（4）（5）（6）	履行済
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の審附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - 【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
 - 【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<理工情報生命学術院 システム情報工学研究群（D）（5年一貫）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・全学的な教員の資質の維持向上のため、全学組織である教学マネジメント室に教育力向上部門を設置するとともに「筑波大学ファカルティ・ディベロップメント活動の実施に関する要項」を制定し、全学的なFD活動の推進を行っている。（別紙2,3を参照）
- ・部局FDについては、システム情報工学研究群の関係学位プログラムから選出された委員で構成する「FD委員会」を設置し、本FD委員会が中心となって教員の資質の維持向上、FD活動を行う。また、FD委員会委員を部局FD担当教員と位置付け、大学全体のFD活動等との連携、調整、実施を行う。（別紙4を参照）

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FDについては、教学マネジメント室運営会議を月1回開催し、全学FDの企画及び運営を行っている。
- ・部局FDについては、システム情報工学研究群のFD委員会（委員：12名）を年数回開催。

c 委員会の審議事項等

- ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学的なファカルティ・ディベロップメントの企画及び実施並びに部局におけるファカルティ・ディベロップメント活動の支援に関すること
- ・システム情報工学研究群FD委員会の審議事項等：各種研修会の企画・立案・開催、授業評価アンケート結果の確認・分析等

② 実施状況

a 実施内容

- ・教学マネジメント室教育力向上部門：全学FD研修会の企画及び運営
- ・システム情報工学研究群FD委員会：授業評価アンケートの実施、オンライン授業実施方法についての勉強会（全学FDとの共同開催）、優秀な博士人材獲得に向けた講習会、留学生受け入れ後の対応に関する講演会

b 実施方法

- ・全学FD研修会の開催（教学マネジメント室教育力向上部門）
- ・実施内容に即して、研究群FD委員会においてコーディネートして実施する。（システム情報工学研究群FD委員会）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・全学FD研修会：全学的に実施している学位プログラムのモニタリング及びプログラムレビューの結果等も踏まえて全学FD研修会を企画・実施している。令和5年度は全16回の全学FD研修会を実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・プログラムレビューの結果を踏まえ、各学位プログラムは必要な事項について改善計画書を教学マネジメント室に提出し確認を受けた上で、改善計画を実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・各授業科目終了時に授業評価アンケートを行っているほか、学位プログラムごとに学生との懇談会などの機会を活用して学生の意見を収集し、授業及び研究指導の改善に役立てている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各学位プログラムの担当教員間で集計結果を共有するほか、大学ホームページにおいて集計結果の概要を公表している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に沿い、令和2年4月に理工情報生命学術院システム情報工学研究群（博士後期課程／一貫制博士課程）を設置し、必要な教員配置及び授業科目の開設等を行い、教育課程を実施している。設置申請時に作成した「設置の趣旨等を記載した書類」は全学的に配付・周知されており、また、当該書類に記載した改革の要点をまとめた大学院改革パンフレットも制作・公表している。

さらに令和2年度から、教学マネジメントの確立のため、学位プログラムごとに入口から出口にわたる教育の実施状況と改善の取組に関する点検・評価を行うモニタリング及びプログラムレビューを全学的に実施している。今後も、新たな教育システムの下、本研究群が大学院の担うべき重要な使命を果たし、設置の趣旨に違わぬ効果をあげるため、より一層の努力をしていきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和6年度中 筑波大学年次報告書の公表

b 公表方法

- ・筑波大学年次報告書は、大学ウェブサイトにおいて毎年公表している。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和6年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受審する。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトに公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。